

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 (仮称)プレミスト北11西1B棟新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理	
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
配慮項目	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体					
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境						0.40			3.4					
1 音環境					3.0	1.00	3.6	1.00	3.6					
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50						
1.2 遮音					3.0	0.50	4.3	0.50						
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	5.0	0.38						
2 界壁遮音性能					3.0	-	4.0	0.38						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	4.0	0.25						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	-	-						
1.3 吸音					3.6	-	-	-						
2 温熱環境					2.3	0.35	3.7	1.00	3.5					
2.1 室温制御					2.3	1.00	3.7	1.00						
1 室温					2.0	0.63	3.0	0.63						
2 外皮性能	A				3.0	0.38	5.0	0.38						
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-						
2.2 湿度制御					-	-	-	-						
2.3 空調方式					-	-	-	-						
3 光・視環境					2.8	0.25	3.4	1.00	3.3					
3.1 星光利用					3.0	0.30	4.1	0.40						
1 星光率					3.0	0.60	4.0	0.50						
2 方位別開口					3.0	-	5.0	0.30						
3 星光利用設備	A				3.0	0.40	3.0	0.20						
3.2 グレア対策					3.0	0.30	4.0	0.40						
1 星光制御	A				3.0	1.00	4.0	1.00						
2 映り込み対策					3.0	-	-	-						
3.3 照度					2.0	0.15	1.0	0.20						
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-						
4 空気質環境					3.0	0.25	4.0	1.00	3.8					
4.1 発生源対策					3.0	0.60	5.0	0.63						
1 化学汚染物質					3.0	1.00	5.0	1.00						
2 浮遊粒子状物質					3.0	-	-	-						
4.2 換気					3.0	0.40	2.3	0.38						
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33						
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	1.0	0.33						
4.3 運用管理					3.0	-	-	-						
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-						
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-						
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3					
1 機能性					3.7	0.40	3.6	1.00	3.6					
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60						
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-						
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	1.00						
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-						
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	4.5	0.40						
1 広さ感・景観					5.0	-	4.0	0.50						
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-						
3 内装計画					5.0	1.00	5.0	0.50						
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-						
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-						
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-						
3 衛生管理業務					3.0	-	-	-						
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9					
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-						
1 耐震性					3.0	0.80	-	-						
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-						
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30	-	-						
1 躯体材料の耐用年数					5.0	0.20	-	-						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B			2.0	0.20	-	-						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B			3.0	0.10	-	-						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B			3.0	0.10	-	-						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B			3.0	0.20	-	-						
6 主要設備機器の更新必要間隔		B			3.0	0.20	-	-						
2.4 信頼性					2.4	0.20	-	-						
1 空調・換気設備					1.0	0.20	-	-						
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20	-	-						
3 電気設備					3.0	0.20	-	-						
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-						
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-						
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.6	1.00	3.5					
3.1 空間のゆとり					-	-	4.2	0.50						
1 階高のゆとり					3.0	-	5.0	0.60						
2 空間の形状・自由さ					3.0	-	3.0	0.40						
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50						
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-						
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-						
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-						
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-						
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-						
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-						
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-						

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)プレミスト北11西1B棟新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.2	
1 生物環境の保全と創出						札幌市緑化基準を超える環境に配慮している。	3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮						歩道に沿った植栽と照明の連続配置により景観を修景。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮							2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上							3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上							2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制						住宅性能評価基準5-1断熱等等級のおける等級4に相当の確保。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用							2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.84	4.1	0.50	-	-	4.1
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)							-	-	-	-	-
3.2 集合住宅の評価(3c)						住宅性能評価基準5-1断熱等等級のおける等級4に相当の確保。	4.1	1.00	-	-	-
4 効率的運用							3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 集合住宅以外の評価							-	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング							3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制							3.0	-	-	-	-
4.1 集合住宅の評価							3.0	1.00	-	-	-
4.1.1 モニタリング							3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制							3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.6	
1 水資源保護							3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水						節水器具を使用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-	-	-
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減							3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減							2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用							3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						・高炉セメント ・電気炉鉄筋	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						・フローリング、ビニル系床材、クロス材。	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材							3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等分別が比較的容易。	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						・接着剤 ・シーリング材 ・塗料 ・塗床 ・防水工事プライマー	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.70	-	-	-
3.2.1 消火剤							-	-	-	-	-
3.2.2 発泡剤(断熱材等)							3.0	1.00	-	-	-
3.2.3 冷媒							-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮						LCCO2排出率79%。	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮							2.1	0.33	-	-	2.1
2.1 大気汚染防止							-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善							2.0	0.67	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.3	0.33	-	-	-
2.3.1 雨水排水負荷低減							1.0	0.33	-	-	-
2.3.2 汚水処理負荷抑制							-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制							3.0	0.33	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制							3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮							3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-	-
3.1.1 騒音							3.0	1.00	-	-	-
3.1.2 振動							-	-	-	-	-
3.1.3 悪臭							-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	-	-	-
3.2.1 風害の抑制							3.0	0.70	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制							-	-	-	-	-
3.2.3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制							4.0	0.20	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						「公害対策ガイドライン」チェックリスト項目の過半を満たしている。	4.0	0.70	-	-	-
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。	4.0	0.30	-	-	-